



スキー協通信

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル4F (3971) 4144

ホームページ: <http://www.tokyoskikyo.org/>

No.332

発行

2011.9.1

発行責任者・小川 洋

第44回定期総会開催



目次

第44回定期総会発言集	2～7頁
乗鞍担ぎ上げレーシングキャンプ報告	8頁
第16回東京反核平和マラソン報告	9頁
組織局からの会員登録のご案内	10頁
information	11頁
9月・10月のカレンダー	12頁

第44回定期総会発言集(抜粋)

東京スキー協第44回定期総会は、去る6月19日に江東区・辰巳にある「株式会社きかんし」7F食堂に開催されました。

当日は全国スキー協・石川理事長ならびに新日本スポーツ連盟東京都連盟・萩原理事長が来賓として挨拶をして頂きました。

総会は代議員定数92名中59名が参加して成立、すべての議案を賛成多数で可決し新体制の下で無事に閉会することが出来ました。

ここでは総会当日の代議員の発言を抜粋して掲載します。

●クラブの活動と現状、未来への展望

ぶるるん 荒木関史朗さん

去年今年と、2人ずつ新会員を迎えて総会に参加している。一昨年年末、運営委員2人が病気になり、体制が崩れたが、他の会員が先頭に立って1、2月の行事を成功させた。去年のクラブ総会では、一部の幹部に頼りすぎ他の会員が活動を遂行するのに不慣れなこと、行事のマンネリ化を反省した。

年間計画を立てる際に、行事責任者として数名会員が立ち上がり、3月は、地震後会場確保が難しかったが、4、5月はレクリエーション、ここ数年うまくいっていなかった例会も工夫してスキーブーツの履き方講習をやるなど好評だった。

とにかく楽しく和気あいあいとやること、上手くなったという喜びを共有できるような指導をすることに気を遣った。行事は兄弟クラブ、他クラブとの交流をさかんに呼びかけ、会員よりもゲストのほうが多い行事もあった。その中から2人が加入、会員の子ども、孫の参加も増え、移籍者などもあり会員が増えた。

また新会員がHPの立ち上げてくれた。地道でも地域に根付いて続けていくことが大事。忙しくて来られない会員を見捨ててはダメ。行事に参加できなくてもニュースを配ったり、機会があれば戻って来られるように気遣うことが大切。新会員への連絡を紹介者にやってもらうなど、責任を持ち合いお客さん会員にならないよう工夫。震災に関しても、スキ

ー協らしい取り組みをしていきたい。

スキーメイトや通信も、活動の交流や会員の元気が出るよう工夫することが大切ではないか。

みなさんと力を合わせてやっていきたい。

●シニアクラブの現状と悩み

こなゆき 田畑健さん

クラブ総会に向けて1年間の活動をまとめている。クラブ主宰のスキー行事13回延べ101人、登山・ハイキング10回52人、サイクリング2回10人、ゴルフ2回11人、スキー協の競技大会、研修も含め述べ人数199人の参加があった。

正会員が2人増え現在37人。高齢で退会1人。メイト購読16人、目標の60%より後退している。その他に読者会員、準会員(休会中)合わせて11人。指導員3人(うち1人休会)。運営委員8人が交代で行事を担当しているが、みな高齢になり困っている、若い人を育てるのが急務となっている。

この5年間で新会員が10人あった。内容は山スキー2人、競技スキー1人、あとは仲間がほしいという人。昨年スキーに参加していない人が6人いるが、辞めてしまわないようフォローしていきたい。

会報は、絵を描く人に表紙を描いてもらい、会員にはカラー、後はモノクロと使い分けている。発行の半月くらい前に会員に原稿依頼しているが、次に回すほどみなよく書いてくれる。10/31に35周年を「ともしび」でやるので、交流のあるクラブ、スキー協役員に参加して頂きたい。

スキー協に注文だが、通信に各クラブの交流の場を作ってほしい。各クラブの会報から抜粋すればすぐできそうだし、自分がやってもいい。また、傷害対策基金をぜひ復活してもらって事故に備えたい。

●千葉スキー協の創立に向けて

てんとおむし 鳴海定光さん

千葉県でスキー協に加盟しているクラブが越年スキーを30数年やっていて、スキー協という組織は知らなかったが、自分も参加してきた。「てんとおむし」のみんなに「滑りが違う」と言われがっかりしたことから、スキー協との付き合いが始まった。

千葉にはスキー協に加盟しているクラブが2つあり、自分も昨シーズン指導員に合格したので、県スキー協を立ち上げるべく船橋で3つめのクラブを作る準備を共にしてきたが、古くからの会員との意見の相違など、想像していなかった困難が出てきた。スキー協の立場として、地域の要求を取り上げ地域の中心になっていかなければならないと、クラブ設立に向けてがんばっている。

●スキーフォーラムのご案内

練馬ヒューマン 干川清一さん

7月に昨年10月に引き続きスキーフォーラムを開催したい。今年のテーマは「レーシング」。高速で安定して滑ること、強い遠心力に耐えうるフォーム作り、限界スピードを上げていくことは、レーサーに限らず上達するための課題なので、みなさんに参加してほしい。スキーに抱いている疑問や自分の課題をみんなで話し合うことは有意義だし、それを考えるネタにもなる。お酒を飲みながらの気楽なクラブ交流としてもぜひ参加ください。

●指導員資格の取り組みと活発なクラブ活動について

てんとおむし 野田たけ子さん

今年指導員資格の実技に合格し、筆記試験が受かっていれば4年連続の合格者になれたはず…残念。

受験者も毎年2~4人で、車1台で移動できる人

数をそろえて挑戦している。スキー行事では毎回レベルに合わせて班分けして受験生も指導員として活動しその中で勉強している。

人数が足りない時は「みなとしゅぶうる」さんから応援に来て頂いている。会員が毎年増えているが、カービングが初めての人が多かったので、分かりやすいスキー協の教程が適していたと思う。新しく参加したスキー経験の豊富な人が、我々の指導に共感してくれて、今度指導員を目指すことになった。

安全にスキーができ、楽しい時間を過ごせるこのクラブにずっと所属していきたいと思っている。そしてスキー協のために会員を増やし、受験者も毎年出していけるようがんばりたい。

●クラブ活動について

エーデルヴァイス 増田成一さん

現在、会員42人（正会員39人）。以前は、会員はそのままスキー協会員として登録していたが、財政的な問題でスキー協加盟者は現在15名。

会員拡大の方法は11月のシーズン・イン・パーティと2月のメイン行事、スキー祭典のお知らせを、清瀬市、東久留米市、新座市の広報に載せて宣伝している。それに対する問い合わせがあり拡大につながっている。SAJに加盟している会員がいるので、合同行事も考えている。SAJ市連盟では行事は少ないが1回の参加者は多いので、もっとスキーに行きたい人の要望にも答えられるし、その中からクラブに加入してもらいたいと考えている。

スキー協の指導員としては自分一人。去年は指導員を配置した行事を5回行ったが、参加者の要望でコブレッスンをやったり、スキー学校の指導員を派遣してもらったりもする。SAJ、SIAの指導も受けているが、新しい技術が出てきたらそれまでのものを排除するのではなく、基本的に共通するものを大事にしていきたい。スキー協の、初心者、初級者が滑れるようになるまでの指導法は非常に有効な

ので活用させて頂いている。

機関紙は2ヶ月に1度、40部配布。

運営委員9人で総会の前に必ずアンケートを取り来期の要望などを反映させる。運営規定を設け、幹事手当て、ドライバー手当て、用具の貸し出し規定などを定めている。また幹事の負担軽減のために各スキー場までの距離、費用の目安などを一覧にまとめている。

総会のやり方などをスキー協から学び、単なる仲良しクラブにならないよう運営をしていきたい。

●スキーを安全に／平和駅伝を走ろう

中野 SNOW 川上咲子

昨年の会員は11名、今年は残念ながら9名に減った。いつもの顔ぶれだが、会員10名を目標にしてがんばって活動している。

る舞子スキー場で会員がケガをした。保険に入っておらず、クラブから治療費を支給した。今後は必ず保険に入り、安全にスキーができるよう取り組んでいこうと反省した。スキー協にも傷害補償対策をやって頂くことを希望する。

去年は反核マラソンに参加した。スポーツ連盟との共同で差し入れをいろいろと準備して頂いて、無事にゴールし、よいマラソンだった。そこで恒例の10月の平和駅伝ですが、人数がそろわなくてもミックsteamで走れるし、応援のみの人も、ぜひ多くの人に参加してもらって成功させたい。

●クラブ運営と都立スキー場設立に賛成の立場から

モルゲンローテ 小柳光雄さん

43期の正会員35名、現在、その他に家族会員と12名の準会員がいる。残念ながら1名退会したが、今期40代の若い人を含む4人が入ってくれた。その中の1人はSAJで活動してきた人で、行事に参加して楽しかったということで入ってくれた。バスのスキー行事のために、多少無理をしても広範に声をかけ参加者を集めたり、会報も年11回発行して、

会員増につなげていきたい。

こなゆきの田畑さんが、都立のスキー場をぜひ作りたいということを提起している。モルゲンから都連盟にも役員として出ている井上宣くんもいろんな形で都民の声を届け、オリンピック誘致を阻止した。惜しまれながら廃業するスキー場がある中、石原都知事が誘致のために貯めこんでいる資金を、ぜひ都民のスポーツのために使ってもらって都民スキー場の設立を実現したい。

●三多摩のクラブの合同行事について

モルゲンローテ 大山恵三さん

三多摩の7つの兄弟クラブ合同で春のツアーと越年をやってきた。越年は30回となるが、参加者も減ってきて、30回のきりのいいところで打ち止めすることにした。これで終わりとなると「もっとやってほしい」、「なにかいい方法はないのか」との声や、続けてきたことへの反響があり、よいつながりや雰囲気できていたと思う。その中でも田沢湖は、ふもとにあるわらび座の食事付きの観劇券を利用したり、秘湯巡りもあるので、なかなかぜいたくなツアーができ、みなさんにお勧めしたい。

春のツアーは、子どもだけの参加を大事にしているのだが、地震、放射能の影響のために断念した。バス2台になることもある春のツアーは今後も続けていきたいし、合同行事はなかなか捨てがたく、がんばって活動していきたい。

●山スキーの状況・富士山大滑降について

三多摩山スキー 長部保雄さん

三多摩山スキーも毎回2～3人参加しているし、ゲストも数名参加している。東京スキー協・立山行事の打ち合わせでも、我々が山スキーの打ち合わせをその場所でやるのを知っていて接触してくる方もいた。山スキー分野からみるとスキー協は停滞していると感じない。ぜひ東京スキー協としていろんな人たちとテレマークなりボードなりとりくみを

やって若い人たちも取り込む取り組みがほしい。

今年の富士山滑降、スキー協として40人ぐらい今年集まった。今年やらないと活動をせばめることとおもい行った。若い人も来た。

来年、スキー発祥101年としてとりくむことが全国スキー協としても決まった。東京としても取り組んでほしい。オフピステを滑る楽しさをつかみ、次のステップへ進んでほしい。

●都立スキー場について

こなゆき 田畑 健さん

東京は、雪あり県の新潟・群馬・福島には電力・水・空気と農産物で大変お世話になっている。大都会の快適な生活は、周辺の県がないと成り立たない。

今回の原発事故でいやというほどわかった。近県の雪あり県に恩返しの意味も含めて、4000億円もオリンピック招致の予算があるのだから、そのお金を使って、スキー場を買い取ってもいいのではないかな。経営の厳しいスキー場もある。行政に要請していきたい。都内に体育館124か所、林間施設も各行政区にある。スキー場もセットでとなれば一行政区では難しいので都で取り組めばいい。

スキーシーズン以外は、自然学習できる施設にすればいいと思う。それと築地市場の豊洲移転問題では、豊洲で有毒物質がでたり地震では液状化も起きたりしている。豊洲には、市場ではなく、LNG発電所、太陽光発電所、風力発電所を作ればよい。

●富士山を滑ろう

ラ・ランドネ 矢口政武さん

富士山滑走について、「厳しい」と「楽しい」は裏腹の関係みたいなもの。厳しいほど楽しい。車で3000m登っても感動はあまりないが、自分で汗かきかき登ってみる眺望は2000mの山でも違った味がある。安全については、全国の山スキーが責任を持って対応する。前回の富士山でもけが人が出たが、自分たちでレスキューして下ろしてきた。下ろして

きたところでレスキュー隊がきてほめられた。そのぐらい安全確保には気を配っている。富士山滑降は2012年5月12-13日、安全という意味では富士宮口からやる。南斜面で雪が軟らかいし斜度も比較的緩い。2400mまで車で登れる。また、「頂上から滑ろう」とは言っていない。下まで安全に滑ってこれるように、要所要所に人を配置して「これ以上登っちゃダメ」などのアドバイスもしたり、安全については全国山スキーが保証する。登りはスキーをかつげばいい。富士宮口は、比較的緩くバーンが三つに分かれている。いやというほど登るが、いやというほど滑れる。みなさんの実力なら滑れる。天気やコンディションは、御殿場にいる会員からニュースを事実ありのままに伝えてもらえるようになっている。ゲレンデ用のスキーでよい。雪の上はきれいではないので、古いスキーの方が絶対いい。山スキーに関係のないクラブからも是非参加してください。

●競技スキー委員会の活動について

銀嶺 矢吹 健さん

競技スキー委員会は、6シーズンか7シーズン目。当初は、12-5月まで月1回練習、月1回大会に出ようという形で始めた。それ以前は、東京競技大会前の舞子の練習と、4月の津南のキャンプだけで、もっと練習しようということでも始めた。外の風は厳しく、草大会に出たが、我々は完走者の一番最後の方に固まる感じだった。現状は練習を中心に企画し、東京大会、全国大会、有志でスーパーGに参加。

今シーズンの内容については、自分が2月末の練習で怪我をして3月以降の詳細はわからないが、1シーズンで10数回の行事を開催し、概ね黒字で東京スキー協の財政にも多少は貢献できていると思う。安定した参加者がいる理由は、今期まで長年お世話になった石倉コーチとの信頼関係もあって、ひとりひとり目標をもって、ひたすらガンガンやるのではなく、ポイントを見て頂き毎回毎回レベルアッ

プできたことがある。今年からは、コーチにかわる。忙しい方なのでべったりついてコーチとはいかないので、競技スキー委員会で対応を考えていきたい。

新コーチの勧めでグランジャー（車輪のついたスキー）の練習の企画を組もうとしている。

競技スキーは敷居が高いという声もあるが、ある程度滑れるようになると、いろいろな理由であまりスキーに行かなくなることもあるが、競技スキーはいい目標になる。今シーズン練習で怪我をした人が何人かだ。行事に参加するときは保険に入る、あとのケアを忘れない、勧める上での安全面の話する、ということが行事を組む上で大切。

怪我をきっかけにスキーをやめるなどということにならないようにしたい。今シーズンは、コーチはかわることになったが雪が多くいいシーズンだった。競技スキー委員会として活動を活発化していくうえでもがんばっていきたい。

●東北の震災復興支援について

スノーモンスター 吉田安信さん

震災についていろいろ報告もある。こんなときにスキーをやっているのかという声もある。先週の全国スキー協代表者会議での岩手の代表から、「震災復興は、カンパ・ボランティアだけでなく、我々としては東北にスキーに来てほしい。それによってスキー場も活性化する。周辺の宿なども活性化する。遊びにきてほしい。」という発言があった。三多摩の越年が30年を機にお休みするという発言があった。東京スキー協は岩手の八幡平で越年行事を行っている。三多摩の方や、正月に行事のないクラブの方には、ぜひこの八幡平の越年行事に参加して頂き、バス2台、3台という規模で行いたい。

参加を呼びかけます。

●スキーの保険について

どさんこ 市川正幸さん

安全問題とスキーの保険の発言が何人かの方

らあった。これまで、全国スキー協の損害保険と賠償保険があり、クラブ行事の7割ぐらいはこれを使っていたが、保険業法が変わり、なくなった。

今、あいおい損保の保険事務所と打ち合わせて、名簿だけ送ってお金を払えば保険がかけられるようにした。「どさんこ」と「ウイークデー」でこの形でやっている。日帰り行事についても1日1人当たり、600円で保険がかけられる。保険なしの行事は避けるべきで、保険事務所と相談して、かけやすい方法でかけていくことが必要だと思う。

●クラブの活動と技術アップについて

練馬ヒューマン 近藤安宏さん

会員37名から34名に減少した。高齢だとかスキーに行かなくなったと言ってクラブをやめる方もいた。練馬ヒューマンは地域のクラブで、高齢の方も多い。正月行事でも、あまり型にはまった講習は行わず、そのバーンごとに合わせたワンポイントの講習など行い、楽しく3日間過ごせるようにすることを強調している。また、クラブ員の顔が見えるようにということ、新しい情報を伝えようということで会報を編集している。紙で送付が30から25名、メールで30名、会報の送ってくれる他クラブにも送っている。今期、講習をもっと充実させようとトランシーバーを購入した。滑りながらダイレクトに話をして講習をして、レベルアップにつながるよう行ってきた。今年6月、クラブ員の希望から、岩原スキー場で山菜狩りをやった。行事についてもいろいろ工夫している。

技術アップについて、競技スキー委員会の矢吹さんから話があった新コーチ、吉岡大輔コーチの講習を3回受けた。1回はフリースキーレッスン、それと草津の担ぎあげ2回（1回目はSAJ 世田谷スキークラブの行事）、場所は自然保護のために去年までと変わって、草津白根お釜の駐車場の近くでやった。

吉岡コーチが滑ってくれることは、すごいインパ

クトがある。言葉だけでなく実際に見れる。ポジションがすごい。「すねと上体の角度は同じだよ」と言われ、これは基本中の基本だが、斜度のあるところでは、なかなか指摘されないとできない。それから、ぜひ参加してほしいのだが、陸上トレーニングやバランスボールもすごく役に立つ。吉岡さんは、バランスボールをやるときも実際に滑っているときをイメージしながらやるように教えてくれた。

自分でトレーニングするのも役立つと思う。バランスボールに滑るイメージで寄りかかって、ボールをとると吉岡さんは倒れないが、東京スキー協の参加者はみんな後ろに倒れた。みんなイメージが後傾だったということ。コーチに恵まれたと思う。これを使わない手はないので、夏のグランジャー、冬の実際の滑走と、ぜひ参加してほしいのはシーズン終わりのフリースキーレッスンと担ぎあげ。技術力のアップにとりいれてほしい。言われていることは基礎中の基礎。ぜひ皆さんに参加してほしい。

●クラブ活動について

雪けむり 宿谷さん

雪けむりはクラブができて5年。山スキーがうまくなろう、そのためにスキー協に入とうまくなろうと考えた。それで一定以上滑れる者は全員受けよう、合格できなくても基礎から安く丁寧に学べる、と取り組んだ。5年間で、一人は1点差で不合格。

受けた理由の一つは、地域に開かれたクラブにしよう、そのためにはクラブに指導員を3人作って訴えられるようにしようとしたが、結果は2人。指導員を受けていると山スキーをしたいのにできないという矛盾が出てきた、集中してないと合格できない。検定が終わって春スキーだけで、せっかくのパウダーの時期にはゲレンデに通って指導員になるための練習となった。何回も滑るにはお金もかかるので、会員の別荘を使ったり、道の駅のテントで泊まったりして滑った。今年の指導員受検は自分一人

になりそう。会の運営として例会の始めにDVDを必ず見るようにした。良かったと思う。また、ビデオを買って撮ってみんなで見れるようにしたが、指導員不足で善し悪しを解説する人間がいない。深雪講習会を全国山スキー部長の福田洋吾さんを招いて行い大好評。来年どうするか、指導員不足で会の行事を充実させられない。ボーゲンレベルに対しては、指導員受検した自分が教えている。同じ時期にスキー協に加盟したてんとおむしは、毎年指導員を輩出している。雪けむりは苦労している。今日の他クラブの話も参考にしてこの1年がんばっていきたい。

●指導員に合格しました

シュプール 伊藤正明さん

スキーを40何年やってきたが、ノーマルスキーで凝り固まっていて、ギャップを感じていて、なかなかカービングスキーがうまくできず、基本からやるチャンスと思い受けることにした。去年は基本的なことが何もできずストレスたまってスキーに行くのがおもしろくなかった。4月の関西ブロックではもうちょっとのところで不合格。「えっ、これで!」と思ったが、落ちてよかった。受かったらそれで満足してしまったと思う。少しの差の持つ意味があとでわかって再チャレンジしようと思った。去年11月で再雇用をやめて、毎週スキー漬け。

自分だけで滑るのは、あまり役に立たず、検定前日の講習でもダメだしされていた。自分なりに滑りが変わったのは感じていた。奥さんや周りも滑りが変わったと言ってくれるようになった。自分が受けて、周りにも受けようという声が出てきた。自分は、スキーを続けようと思っていた時に、水泳仲間に誘われて、クラブに入る前、3年ほど会員にならずにシュプールに通っていて、雰囲気もいいと思って入会した。クラブの雰囲気は大切。クラブの中で自分の特徴を生かして活動していきたい。また自分のチャレンジもしていきたい。

乗鞍担ぎ上げレーシングキャンプ



乗鞍担ぎ上げポールトレーニング、何で参加してしまったのだろう・・・？

全国の乗鞍サマーレーシングに滋賀の河口さんに誘われ、埼玉の平沢千里さんに相談したのが過ち、東京行事に参加の平沢さんに誘われ、優柔不断な私はどちらも断りきれず、初乗鞍にして二週連続で担ぎ上げしちゃいました。

東京の担ぎ上げは学生の部活並み、最終日は半日なんて甘い事言ってないで、天気にも恵まれてしまい三日間みっちり滑りました。段取り、手配、会計、司会に森田さんは一人で何役したのだろう？お見事でしたね！お疲れさまでした。

さて関口コーチのトレーニング内容ですが、バラエティに富んでいて、参加者のレベルに合わせた引き出しが次々に開かれま

す。特に印象に残ったのは“片反”、「えっ！わざと片反？ですか？」理想の速いラインを滑るために、スピード感に慣れるにはなんとも画期的なトレーニングでした。(片反が好きになっちゃいますよ)

しかしコーチから何度も繰り返し耳にする言葉「エッジの開放・入れ替え」が出来ない、わざと支え棒している訳ではないのに出来ない(>_<)。°。°。°☆(大粒の涙)。

帰りの車で知ったのですが、私だけ出来ないのかと思ったら同乗者にも同じ悩みの持ち主がいて少し心が和らぎました。

だからってそれで良い訳ではないので、丸沼サマーゲレンデでこれを克服して、また東京スキー協乗鞍担ぎ上げ関口コーチトレーニングに参加したいです。

前橋スベロークラブ・新井和美

第16回東京反核平和マラソン 7月30日(土)快晴の東京都内を走る

新日本スポーツ連盟
東京都連の反核平和マラソン。関心外のイベントでしたが、「昨年までは安増さんが車の運転手をやっていた。代わってやってもらえないか」と実行委員会からの打診。「断るわけにはイカンな」と引き受けました。



都内を走るコースは東西南北4コース。ゴールはすべて代々木公園です。私は杉並区役所をスタートする「西コース」を担当しました。杉並区役所から練馬区役所、中野区役所、新宿を通り、NHKの横、渋谷区役所から代々木公園にゴールするコース。総延長18キロ。

東コースが夢の島から出発。南は大田区役所から、北は北区役所から。距離数は大体同じ。10時ごろ出発して2時ごろに一齐にゴールして盛り上がりとういう設定のようです。

さて伴走した西コースのランナーは20人前後のマラソン愛好者。黙々と走る静かなランナーばかりで、ずいぶん地味な“マラソン大会”だと思って伴走しました。

しかし、ゴール地点で出会ったランナー集団はまったく予想外のパフォーマンスでアピールして走ってきたようです。地味な集団は西コースだけ?かも。

ギターをかき抱き、歌まで歌って走る集

団や、ウェアの彩り鮮やかなオバチャン集団もいて、この大会は「マラソン愛好者たちの創意あるユニークな平和・反原発アピールイベント」であると知った次第。

ゴール地点では「ゴスペルママ」という集団が、歌でゴールするランナーを祝福。代々木公園の一般行人のなかで、外人さんは「アピールアクション」に写真を撮ったり立ち止まって眺めていたりと反応を示しますが、日本人は(まちなかを走っている途中で出会う人たちも)、全く“スムシ”。自分の感情を、主張を、なぜ明確にそして素直に態度で表せないのだろうか?ラテン系の反応を示さない、不感症ぶりを情けネーと思いました。

東京スキー協関係の人が小川さんはじめ、10人近くも参加しているのが意外でした。全体としては楽しいイベントでしたが、運転手よりも、走る側の方がいいな…。そんな気がします。みなさん、来年一緒に走りませんか? 練馬ヒューマンSC 武田健一

第44期東京スキー協 会員登録の御案内

東京スキー協組織局 2011年8月10日

東京スキー協第43期の会員登録名簿を送付いたします。9月20日までに会員名簿を郵送ください。FAXでも受け付けます。クラブ担当者調査カード、お勧めのショップ等情報も同封しました。郵送先等変更のあるクラブは早急に返送頂けるようお願いいたします。

東京スキー協会員登録名簿

登録名簿に記入の上東京スキー協組織局へ郵送又はFAXで御返送ください。
記載事項が同じであれば別用紙で結構です。

クラブ各担当者カード

記入の上東京スキー協組織局へ郵送又はFAXで御返送ください。
記載事項が同じであれば別用紙で結構です。

お勧めの「スキー場・宿・食堂・ショップ情報」

以前から利用している宿、ショップ一覧を同封いたします。この一覧は、現在改訂準備中です。一部休業の宿内容変更の宿もあると思います。組織局としても情報収集に努めますが、クラブからの新しい情報も是非お寄せ下さい。

以上3書類はエクセルファイルで作成しました。メールでの受付もいたします。

指導員年次登録は9月20日締め切りです

指導員登録には「会費」、「指導員登録料」、「年次登録名簿」の3点が必要です。
指導員登録と同時に会員登録を完了して頂けるようお願いいたします。

【会費の納入】

登録名簿の記載者数を東京スキー協郵便振替口座にお振込みください。
口座番号：00110-7-88004
振替用紙の通信欄にクラブ名と会費の内訳を明記してください。
会費は3500円/1人(年)(個人会員は4500円)です。

返信、返送先はこちら

東京都勤労者スキー協議会 組織局
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-9-15 大住ビル402
TEL/FAX: 03-3971-4144
組織局長 石黒 健 e-mail: info@tokyoskikyoo.org

information

教育技術局からのお知らせ

今年もブラシスキー講習会を開催します。ぜひご参加ください。

指導員の皆さんには、すでに「スキーリーダー」同封チラシでご案内していますが、9月18日（日）、19日（月、祝）の2日間、群馬県の丸沼高原スキー場で、ブラシスキー講習会を開催します。2006年の初回開催以来、2008年は台風上陸で中止となりましたが、5年間で6回開催してきました。教育技術局として、この行事は新しいシーズンを迎えるにあたり、スキー技術の最も重要で基本的な滑走ポジションの確認から始め、内向傾運動、外脚の開きだしなど教程技術の基本動作、更にはそのシーズンの教程解説DVDの内容と、会員・指導員の皆さんの技術向上にかかせない内容で講習会を実施してきました。

ブラシスキーのいいところは、地味な基礎練習中心ですが、①冬と同じスキーでできる。②低速なので、滑走感覚を確かめながら、考えながら滑れる。③コースコンディションが変わらないので、繰り返し滑って確認をしたり、滑り方を変えたときの違いを確認したりできる。などがあります。

毎年、ビデオ撮りを行い、夜にはミーティングを行ってイメージ作りをしているので、初めての参加者も2日目には滑りがだんだん変わってきます。

「スキーの基本技術の習得は、シーズンイン（12月）から始めていたのでは、そのシーズンには間に合わない。」…先日、全国スキー協 技術教育局長の荻原さんがおっしゃっていた言葉です。技術レベルの向上・飛躍をめざして、ブラシスキー講習会への参加を呼びかけます。

締切は9月12日（月）、参加費は¥17,000（1泊2食、講習料、傷害保険、交流会費）です。宿の食事は、地元の野菜などを使ったご主人の創作料理、パンやピザも自家製でとてもおいしいです。ぜひご参加ください。

第29回テニス交流会

日 時 2011年10月1日～2日（現地集合・現地解散）

場 所 山中湖畔 スペランザ丸石

〒401-0501 山梨県南都留郡山中湖村平野 473-21

TEL 0555-65-8358

定 員 30名

参加費 15,000円（1泊4食、交流会費、保険、コート代）

20,000円（1.5泊5食、交流会費、保険、コート代）

申込金、もしくは全額の振込先 〈郵便振込〉

口座番号 00110-7-88004 東京都勤労者スキー協議会

※通信欄(裏面)に「第27回テニス交流会」と記入してください。

9月・10月のカレンダー

9月	東京スキー協	全国スキー協	10月	東京スキー協	全国スキー協
1日(木)	常任理事会		1日(土)	テニス交流会	
2日(金)			2日(日)	〃	
3日(土)			3日(月)		
4日(日)	スキーセミナー		4日(火)		
5日(月)			5日(水)		
6日(火)			6日(木)	常任理事会	
7日(水)			7日(金)		
8日(木)			8日(土)		
9日(金)			9日(日)		
10日(土)			10日(月)		
11日(日)			11日(火)		
12日(月)			12日(水)		
13日(火)			13日(木)		
14日(水)			14日(金)		
15日(木)	第3回理事会		15日(土)		
16日(金)			16日(日)	初中級指導員養成座学	上級指導員養成座学
17日(土)			17日(月)		
18日(日)	ブラシスキー		18日(火)		
19日(月)	〃		19日(水)		
20日(火)	編集会議		20日(木)		
21日(水)			21日(金)		
22日(木)			22日(土)		
23日(金)			23日(日)		
24日(土)		サマーセミナー	24日(月)	編集会議	
25日(日)		〃	25日(火)		
26日(月)	通信発行		26日(水)		
27日(火)			27日(木)		
28日(水)			28日(金)		
29日(木)			29日(土)		
30日(金)			30日(日)	クラブ交流平和駅伝	
			31日(月)	通信発行	